

# 令和3年度 環境で地方を元気にする 地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業 キックオフミーティング 発表資料

## 活動団体の本事業への関わり

今年度より“環境整備“に取り組む	
昨年度から引き続き“環境整備“に取り組む	✓
昨年度までの“環境整備“を経て、今年度より事業化に取り組む	
昨年度までの“環境整備“と“支援チーム派遣(事業化支援)”を受けて引き続き今年度事業化に取り組む	

活動団体名：北九州環境ビジネス推進会（KICS）

活動地域：北九州市及び周辺市町村

活動におけるテーマ・キャッチコピー

「明日の北九州の環境産業ビジョンを描く」

# 活動団体紹介

## 北九州市の50年

### 北九州市

- 1992年  
ブラジル地球サミット  
「国連地方自治体表彰」
- 1997年  
「エコタウン事業」第1号指定
- 2008年  
「環境モデル都市」
- 2011年  
「環境未来都市」  
OECD「グリーン成長モデル都市」
- 2018年  
「SDGS未来都市」  
OECD「SDGS推進に向けた世界のモデル都市」



1960年代



現在

《産官学民で公害を克服し快適な街へ》



1960年代



現在

### KICS

1998年 設立

北九州市の環境・エネルギー産業が保有するソフト・ハード技術



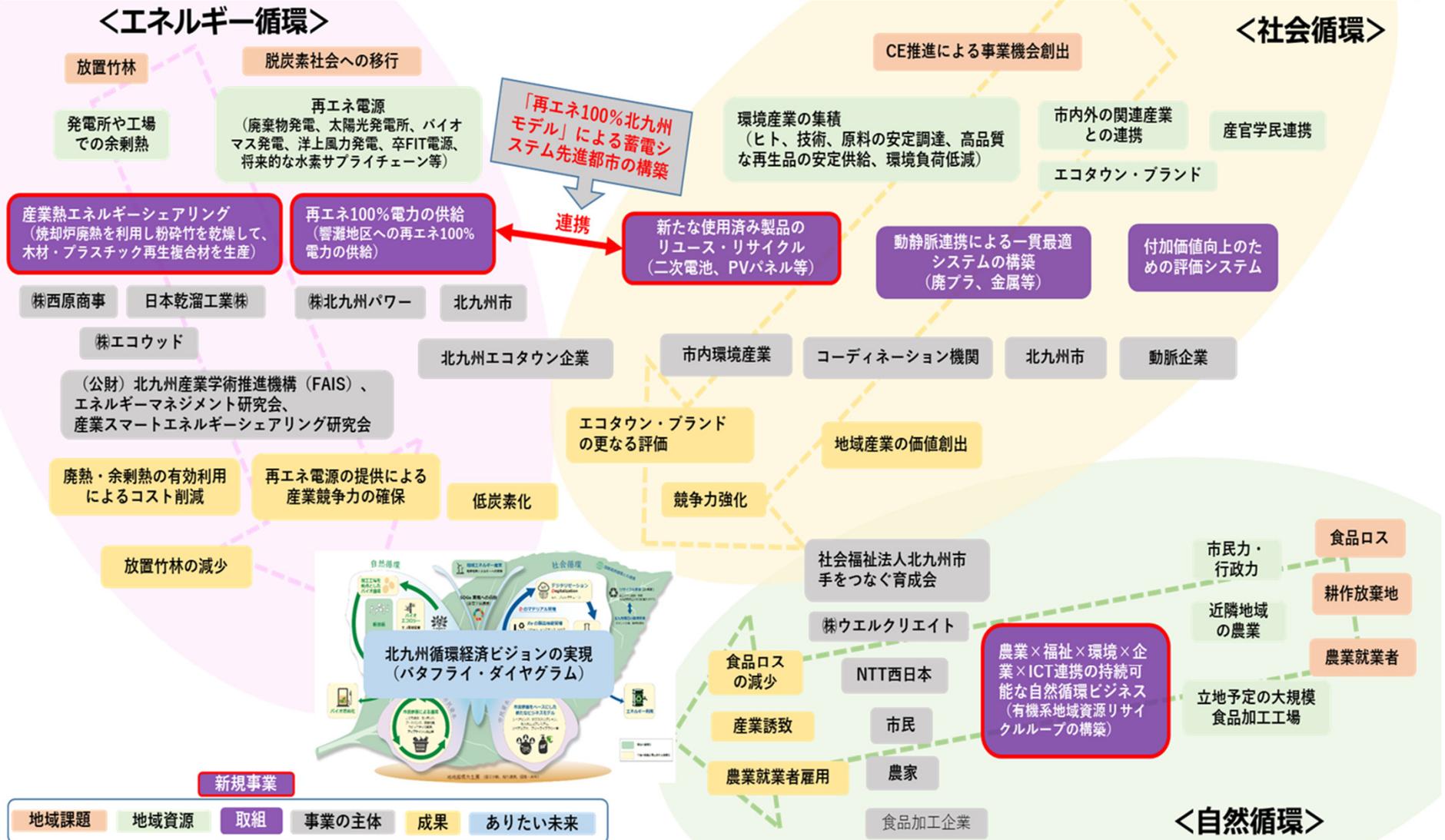
「目的」  
新しいビジネスの創出  
国際連携による海外  
ビジネス展開

会 員 : 50社  
特別会員 : 18団体  
事 務 局 : 北九州市  
環境局

# 現時点での地域版マングラ(1/2)

## 北九州循環経済ビジョン (マングラ図) Ver.5

2021年2月作成



# 現時点での地域版マングラ(2/2)

## 北九州循環経済ビジョン (バックカスティング手法)

2021年2月作成

「北九州循環経済ビジョン」の下で  
具体的に検討されている事業

北九州市の施策



北九州循環経済ビジョンの実現  
(バタフライ・ダイアグラム)

2021年

2025年

2030年

### <エネルギー循環>

再エネ100%北九州モデル  
(エネ100%電力の供給と蓄電システムの構築)

約200施設  
-本庁舎・区役所  
-市立小中学校

約600施設  
-消防施設  
-市民活動施設

約1,200施設  
-文化体育施設  
-児童福祉施設  
-社会教育施設

北九州市内公共施設  
(約2,000施設)の  
再エネ100%達成

産業熱エネルギーシェアリング  
(焼却炉廃熱を利用し粉碎竹を乾燥)

乾燥した粉碎竹

中古PVパネル、蓄電池

市内工業団地への再エネ電力供給&蓄電システムの提供

### <社会循環>

太陽光パネル、蓄電池のリユース・リサイクル

木材・プラスチック再生複合材を生産

### <自然循環>

100%天然素材の舗装材・のり面保護剤を生産

農業×福祉×環境×企業×ICT連携  
の持続可能な自然循環ビジネス  
(有機系地域資源リサイクルループの構築)

# ありたい地域の未来を実現するために何をするか

## ありたい地域の未来

- 世界の環境産業の先端を走るために北九州の静脈産業と動脈産業がつながり、地域一体となった資源循環エリアを作りだす。



北九州循環インダストリアルパーク

## ありたい地域の未来を達成するために、中長期的に見て必要な取組や仕組みは何か

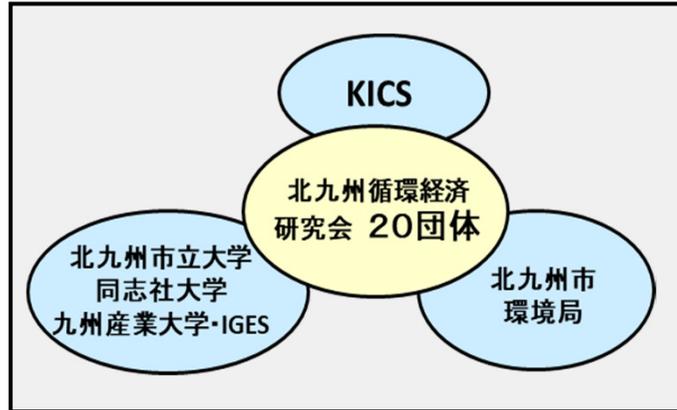
- エコタウンの高度化及び地産地消のエネルギーや廃棄物を地域資源として取り込み、北九州ならではの地域循環共生圏を創造する。
- ビジョンは「自然循環」「社会循環」「エネルギー循環」が三つの大きな柱となる。

## 今年度取組みたい事業のタネや取組み(本事業でチャレンジしたい事)

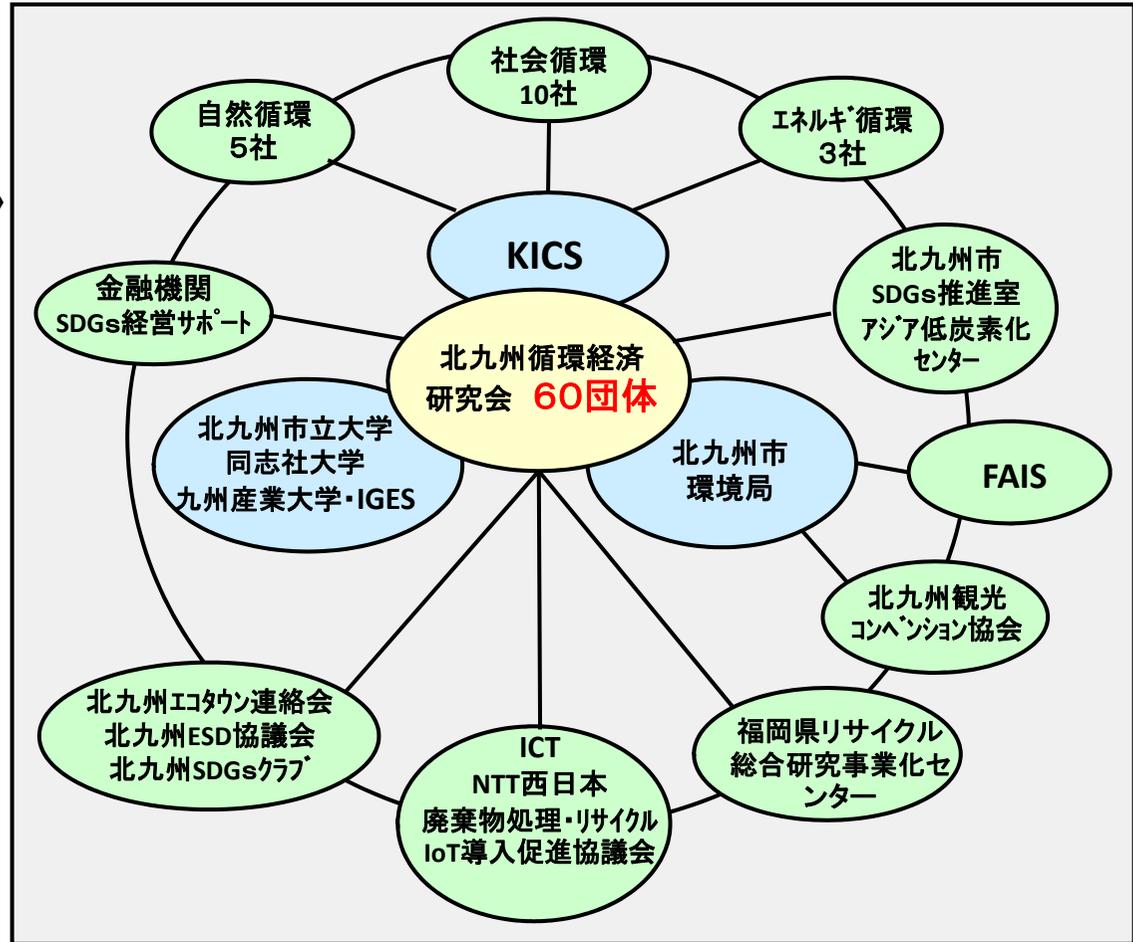
- 「自然循環」 ➡ 農業×福祉×環境×企業×ICT【SDGsソーシャルファーム】  
持続可能な自然循環ビジネスモデルの構築
- 「社会循環」 ➡ 動脈産業と連携した再生品の高付加価値化  
「再エネ100%北九州モデル」と連携した太陽光パネル・蓄電池のリユース・リサイクル
- 「エネルギー循環」 ➡ 「再エネ100%北九州モデル」の新たな構築

# 目指す"地域プラットフォーム"のイメージ

2020年4月頃の地域プラットフォームの状況



2021年6月現在の地域プラットフォームの状況



より強化したい地域プラットフォームの機能

- 北九州循環経済研究会を核として、さらなるステークホルダーの取り込み
- 「明日の北九州の環境産業ビジョン」策定および事業化計画の策定
- 「SDGs未来都市計画」と連動した登録・認証制度を活用する企業との連携

# 令和3年度 年間スケジュール（参考資料）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
事業全体の予定			◆キックオフミーティング ↔ 協定締結（活動予算執行開始）				◆10/4 意見交換会		◆中間報告会 ◆中間報告書提出期限		◆活動団体成果報告書提出	◆成果報告会
北九州循環経済研究会			◆6/7 第10回研究会 市民力・サーキュラーエコノミー	◆7/2 第11回研究会 エコテクノ・中間報告会	◆8/2 第12回研究会 ESG投資・SDGs登録・認証		◆10/4 第13回研究会 再エネ100%北九州モデル		◆12/6 第14回研究会 事業化計画			◆2/7 第15回研究会 最終報告会
ビジョン策定				→ ビジョン策定・中間まとめ			→ ビジョン原稿とりまとめ		→ ビジョン策定まとめ			
事業化計画策定					→ 再エネ100%北九州モデル普及計画立案		→ 自然循環事業化計画立案		→ 事業化計画策定			
							→ 社会循環事業化計画立案					